

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321063	保育内容(表現・演劇) Childcare Contents (Theatrical Expression)	安江真由美		専門	2	必修	2前期

科目の概要

領域「表現」では、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを培うことを目指している。この基本的な方向性をしっかりと把握し、領域「表現」のねらいと内容を学ぶとともに、その背景となる専門的な領域、および、子どもの発達に即して、主体的かつ対話的な深い学びや具体的な指導が可能となる基本的な考えを学ぶ。以上から、本授業では、幼稚園教諭・保育士に必要な専門的知識・技能を育成するため、特にオペレッタ等を含む演劇に焦点あてて、その技術と方法を身につける。

学修内容	到達目標
① 表現する楽しさを体験しつつ、他者の表現を客観的に分析して助言する。 ② 幼児にとっての音楽表現の意義について考えると同時に、音楽の表現に関する知識を取得する。 ③ 幼児が主体的に音楽を表現できる環境について知る。 ④ 創造した演目について多角的に考えて実施する。 ⑤ 幼稚園教育要領の基本、および、幼稚園教育において育みたい資質と能力について知る。	① 表現する楽しさを体験しつつ、他者の表現を客観的に分析して助言することができる。また、状況に応じて、ファシリテートすることができる。 ② 幼児にとっての音楽表現の意義を述べ、同時に音楽の表現に関する知識を説明することができる。 ③ 幼児が主体的に音楽を表現できる環境について説明することができる。 ④ 創造した演目について多角的に考えて実施することができる。 ⑤ 幼稚園教育要領の基本、および、幼稚園教育において育みたい資質と能力を列挙することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 ア. 自ら計画を立て、練習することができる。 イ. 思いや意図をもって演奏し、他人の演奏の良いところを見付けることができる。 ウ. 自らの演奏技術を積み上げ、子どもを導く意識をもつ。 エ. 授業のための予習・復習ができています。
	働きかけ力 ア. 自らの目標を達成するために、ひとりで悩まず、まわりと相談できる。
	実行力 ア. 上達することの喜びを感じられる練習に取り組める。 イ. 技能を高めるために自ら具体的な練習方法を考えることができる。
考え抜く力	課題発見力 ア. 自らの演奏等を技術的な側面から分析することができる。
	計画力 ア. グループ内で手順や役割分担を考えて期限内に行うことができる。
	創造力 ア. 思いや意図を音や音楽にして表現するために、どのようにしたら自分の思いや意図を人等に伝えることができるのか考えて創造していくことができる。
チームで働く力	発信力 ア. 自らの技術を高めるため、まわりに質問することができる。 イ. まわりと共に自らを高めることができる。
	傾聴力 ア. 他者の意見を受け止め、素直に努力することができる。
	柔軟性 ア. 他者からの意見を受け止め、自らを磨き、グループで共有できる。
	状況把握力 ア. 集団の中で自分ができることを考える。そして最良の結果を目指すことができる。
	規律性 ア. 音が出るとき、出ないときの区別ができる。
	ストレスコントロール力 ア. 意見のすれ違い、違った意見を自らの中に取り入れ調整できる。

テキスト及び参考文献

『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、2017、チャイルド本社

他科目との関連、資格との関連

「保育内容（表現・演劇）」は、専門分野の保育の内容・方法に関する科目の一部であり、「保育内容（表現A）」「保育内容（言葉）」「保育内容（健康）」で獲得した保育内容の領域に対する考え方や他の科目で培った知識・技能を広く活用する。また、「保育内容（表現・演劇）」は、その後に履修する「保育内容（表現B）」「保育内容（環境）」等の基盤となる科目である。なお、本科目は、幼稚園教諭一種免許及び保育士資格と関連している。

学修上の助言	受講生とのルール
・「こども音楽Ⅰ」及び「こども音楽Ⅱ」を単位認定されていることが望ましいです。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場において、「表現する」ことの意味と一緒に模索して、成長していきましょう。 ・技術を習得する場面が多かったり、仲間と協力して行ったりする授業です。毎回出席しましょう。 ・爪や挨拶等に気をつけてください。 ・妥当性（インフルエンザ、忌引き等）によりますが、無断欠席はやめましょう。 ・遅刻3回を欠席1回に換算します。 ・授業開始15分までの入室は遅刻とし、それ以降は欠席とします。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		30	①		✓	・課題については授業中に与える。（レポート等30点） なお、講義内容等を記述するだけでなく、自分の考えを書けているかどうかの評価のポイントとなる。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①	✓	・中間発表、リハーサル、本番と3回に渡って人前で発表する機会がある。その技術や音楽表現力の向上も評価の対象とする。（60点）			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	下記は、振り返りシートやICT等を活用して判断する。 （主体性） 音楽の技能習得のために自ら練習をすることができる。 （実行力） 自分だけでなく、仲間とともに上達できるよう、協働的に練習に取り組むことができる。 （課題発見力） グループ活動の内容について技術的な側面から分析することができる。 （創造力） どのようにしたら自分の思いや意図を人等に伝えることができるのか考えて創造していくことができる。 （発信力） 自らおよびグループの技術を高めるため、まわりに質問することができる。 （傾聴力） 他者や他グループの意見を受け止め、素直に努力することができる。 （規律性） 授業が円滑に進むよう協力態勢をもち、社会人としてのマナーを身につける。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A(優)は、自分ならばこうする等、自分なりの考えを示すことができるなど、到達目標に照らし合わせて80%以上達成できていること。</p> <p>S(秀)は、自分なりの視点をもって学習した内容について考え、説明することができるなど、到達目標に照らし合わせて90%以上達成できていること。</p>	<p>学習した内容を過去の経験と結びつけながら具体的に述べることができるなど、到達目標に照らし合わせて70%以上達成できていること。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本と全体構造および演劇について(作品等について) ・保育現場における演劇について ・活動① テーマ、演目についての相談、役割分担、教材研究	講義・演習	学習した内容(子ども の音楽的な発達を全体 的な発達の中で位置づ けて)を理解してい る。	予習: テキストの目次 を読み、概要をつかん でおく。 復習: テキストの幼児 の発達段階について読 み、幼稚園教育要領に おける幼稚園教育の基 本と全体構造について 整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
2	・領域「表現」の変遷 と現在の社会的背景、 保育実践の動向につ いて ・活動② 練習計画立案および練 習	講義・視聴覚学習・ ディスカッション・課 題のフィードバック	主体的に意見を述べる ことができている。 学習した内容(領域 「表現」の変遷と現在 の社会的背景、保育実 践の動向について、教 育現場におけるオペ レッタについて)を理 解している。	予習: 各演目について調べ てくる。 復習: 各自の役割に基づい て必要なものを準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	・幼稚園教育要領にお ける領域「表現」のね らいと内容Ⅰ: 音楽を 中心として(効果音 等、劇中音楽につ いて) ・活動③ 練習計画に基づいて練 習する	講義・演習・反転授 業・ディスカッショ ン・課題のフィード バック	主体的かつ協働的に活 動できている。 学習した内容(音楽に おける表現の方法)を 理解している。	予習: 幼稚園教育要領にお ける領域「表現」のねらいと内 容に該当する部分を調べてく る。また、幼稚園や保育園で 用いる楽器をリストアップ し、正しい奏法を調べる。 復習: 表現の過程を自分の場 合に当てはめて考え、ノート にまとめる。また、楽器の正 しい奏法をイラストで表す。 ピアノ等の練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	・幼稚園教育要領にお ける領域「表現」のね らいと内容Ⅱ: 絵画等 制作を中心として ・活動④ 衣装や舞台美術等の制 作	講義・演習・ディス カッション・課題の フィードバック	主体的かつ協働的に活 動できている。 学習した内容(制作に おける表現の方法)を 理解している。	予習: 幼稚園教育要領にお ける領域「表現」のねらいと内 容に該当する部分を調べてく る。 復習: 幼稚園教育要領にお ける領域「表現」のねらいと内 容の意味と意義についてノ ートにまとめる。また、衣装や 舞台美術、プログラム等の制 作をしてくる。 ピアノ等の練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	・幼児を取り巻く環境 の諸側面: 演劇にお ける物的環境、人的環 境、社会的環境とその 変化 ・活動⑤ 進行状況を確認しつ つ、場面設定等を踏ま えて練習する	講義・演習・ディス カッション・課題の フィードバック	主体的かつ協働的に活 動できている。 学習した内容(幼児を 取り巻く環境の諸側 面)を理解している。	予習: 環境について記 されている本を読んで おく。 復習: 表現における 様々な環境について ノートにまとめる。 ピアノ等の練習をす る。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	・幼児の身近な環境と のかかわりと認識の発達 Ⅰ: 自分と自然的対象と の関わり(対象となる作 品に焦点をあてて) ・活動⑥ 進行状況を確認しつ つ、場面設定等を踏ま えて練習する	講義・演習・ディス カッション・課題の フィードバック	主体的かつ協働的に活 動できている。 学習した内容(幼児の 身近な環境とのかかわ りと認識の発達)を理 解している。	予習: 対象となる作品に 焦点をあてて、自分と自 然的対象との関わりにつ いて考えてくる。 復習: 対象となる作品に 焦点をあてて、自分と自 然的対象との関わりにつ いてノートにまとめる。 ピアノ等の練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	・幼児の身近な環境と のかかわりと認識の発達 Ⅱ: 自分と社会との 関わり(対象となる作 品に焦点をあてて) ・活動⑦ 細部の練習を行う	講義・演習・ディス カッション・課題の フィードバック	講義・演習	予習: 対象となる作品に 焦点をあてて、自分と社 会との関わりについて考 えてくる。 復習: 対象となる作品に 焦点をあてて、自分と社 会との関わりについて ノートにまとめる。 ピアノ等の練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	・領域「表現」の指導 案の構成Ⅰ: 保育計画 の意味、ねらいと内 容、幼児の実態を踏ま えることの重要性 ・活動⑧ 中間発表のリハーサル を行う。	講義・演習・ディス カッション・課題の フィードバック	主体的かつ協働的に活 動できている。 学習した内容(保育計 画の意味、ねらいと内 容、幼児の実態を踏ま えること)を理解して いる。	予習: 幼小連携、音づくりや 音遊び等を踏まえて、『小 学校学習指導要領解説音楽編』 から「音遊び」についての項 目を読んでおく。 復習: 即興演奏としての幼児 の表現についての特性をまと める。 ピアノ等の練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・領域「表現」の指導案の構成Ⅱ：保育方法と記録、情報機器と教材の活用、評価（中間発表を通して、意見交換および省察をもとに表現を見直す） ・中間発表会 ・分析及びディスカッション 発表した内容について他のグループとの意見交換を行う。	講義・演習・質疑応答 google forms・ディスカッション・課題のフィードバック	主体的かつ協働的に活動できている。 他のグループの良い点を見つけている。 学習した内容（中間発表を通して、意見交換および反省をもとに表現を見直すことの意味）を理解している。	予習：幼児心理学に関する本を読み、身体的発達の特徴について理解しておく。 復習：子供の表現の発達についてノートにまとめる。 中間発表の課題をもとに、ピアノ等の練習をする。 ・領域「表現」の指導案の構成Ⅲ：3歳児・4歳児・5歳児の各年齢の特徴を理解する（各オペレッタの作品の中間発表を通して、幼児の視線に立って表現を再検討する） ・グループ活動③ 意見交換、及び反省をもとに表現を見直す。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	・領域「表現」の指導案の構成Ⅲ：3歳児・4歳児・5歳児の各年齢の特徴を理解する（各オペレッタの作品の中間発表を通して、幼児の視線に立って表現を再検討する） ・オープニングやエンディング等、全体の流れを踏まえた活動① 意見交換、及び省察をもとに表現を見直す。リハーサル準備を行う。	講義・演習・ディスカッション・課題のフィードバック	中間発表会での学びや反省を生かして主体的かつ協働的に活動できている。 学習した内容（3歳児・4歳児・5歳児の各年齢の特徴を理解する）を理解している。	予習：3歳児・4歳児・5歳児の各年齢の特徴について調べてくる。 復習：3歳児・4歳児・5歳児の各年齢の特徴についてノートにまとめる。また、対象の作品について再検討する。 自分の課題を明確にしてピアノ等の練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	・領域「表現」の指導案の構成Ⅳ：指導案作成実践上の留意点 評価、小学校の教科とのつながり ・オープニングやエンディング等、全体の流れを踏まえた活動② リハーサルに向けて細部をチェックし検討する	講義・演習・ディスカッション・課題のフィードバック	主体的かつ協働的に活動できている。 学習した内容（指導案作成実践上の留意点 評価、小学校の教科とのつながり）を理解している。	予習：『小学校学習指導要領解説音楽編』から「音遊び」についての項目を読んでおく。 復習：指導案作成実践上の留意点 評価、小学校の教科とのつながりについてノートにまとめる。 ピアノ等の練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	・リハーサル①	講義・演習・質疑応答 google forms・ディスカッション・課題のフィードバック	主体的かつ協働的に活動できている。 学習した内容を理解している。	予習：リハーサル①に向けて責任を持って役割を遂行できるように準備する。 復習：リハーサル①の結果、課題となったことをノートに書き、その解決方法を考える。 ピアノ等の練習をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	・リハーサル② ・発表当日まで及び当日の流れの確認	講義・演習・質疑応答 google forms・ディスカッション・課題のフィードバック	主体的かつ協働的に活動できている。 学習した内容を理解している。	予習：リハーサル②に向けて責任を持って役割を遂行できるように準備する。 復習：リハーサル②の結果、課題となったことをノートに書き、その解決方法を考える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	・附属園にて実践発表準備、上演、後片づけまで各自の役割にしたがって実施する。	講義・演習・発表	実習におけるルールを理解して主体的かつ協働的に活動できている。	予習：実践発表に向けて自分の役割を確認し、暗記しておく。 復習：実践発表についての振り返りを、自分の取り組み、幼児の反応などの視点からミニレポートに書く。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	・振り返りとまとめこの授業を通して学んだことをまとめる。 また、ミニレポートをもとに、これまでの取り組みをグループ内で共有し、成果を確認するとともに、来年度に向けての課題をもつ。さらに教師としての手立てについて考察する。	講義・演習・ディスカッション	自己やグループの成長をレポートに記入したり、発表したりできている。	予習：実践発表の振り返りをミニレポートにまとめておく。 復習：この授業を通して自分の成長した点や今後の課題をレポートとしてまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力